

人材分析から活用が広がる

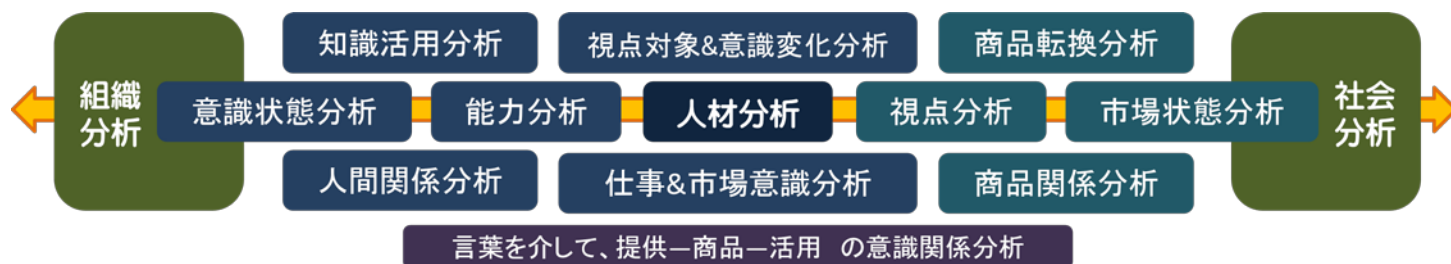
言葉を素材にした分析
新しいモノサシを活用してください。

文章は、知っている言葉を使って書かれています。知らない単語を使えないのは当然です。仮に知ったばかりの単語を使うと、文章のバランス、内容のバランスがずれてしまいます。得意とする範囲で、日常から考えるところを表せば、理路整然としてきます。だから、文章を読めば、作者の思考形態がつかめるのです。苦手なテーマであれば、拙くなります。得意なテーマであれば、熱がこもります。

気持ちを落ち着けて書いておれば、読みやすい文章になります。苛立っていたり、悩みや不安があれば、文体に現れてくるのも頷けます。喜怒哀楽などが文章に出てきます。若干の性格なども現れてきます。

文章分析では、思考性、姿勢、表現時の状態、視点を読み取っていきます。一作者の文章を、年月を追って分析していけば、意識の変化や、興味の移動などが分かるのは当然でしょう。また、ストレスを感じているとき、平静なときとの差も現れてきます。

それだけではありません。文章に使われている単語群や、単語の扱いによって、マーケティングなどの集計にも使われています。人材群の文章データを集めていけば、社内の知識傾向も分かるはずで



分析対象として扱うのは人材分析から始まります。表現されている文章のテーマは様々です。論文、企画書、報告書等々があります。積み上げていくと、組織の状況、市場認識、市場の状態が確認できるはずで

昇格論述試験の分析

顕在化した能力だけでなく、潜在的な要素も取り出していきます。人材の言動は目で観察できますが、文章分析では、内に秘められている事柄も抽出される可能性は大です。

昇格論文に求めるのは、確信の持てる人材の選抜です。「確信が持てる」とはどのような意味なのかを良く検討しておかねばなりません。

求める人材の能力定義は必要ですが、定義が十分であり隙がないからと言って、人材が優秀になるはずはありません。分析基準や評価基準を確かにして、年度を経ても比較できることこそ大切です。年度単位で、仮に人材定義が変化したとして、同じ目線で比べられて、選抜制度と作業が進歩して来ます。定義や意味は時勢によって変わりますが、分析には狂わない基準が必要です。

論述分析は人材分析です。表現姿勢、思考範囲の分析にもなります。仕事の姿勢を浮き上がらせる方法の一つです。

入社エントリーシートの分析

分析の方法、形態は、昇格論述と基本のところは変わりません。昇格論述の場合は、受験者のデータを持ち、実績を知っています。入社への応募者については何も分かっていません。履歴書とエントリーシートのみです。後になって面接など対面での応募者の印象を得られますが、人材が分からないのは変わらないでしょう。

だから、設問に一工夫が必要になります。自社に対しての姿勢と業種に対しての知性の可能性を探る必要があります。その上で、自社に適っている人材を選ぶのか、補完するタイプの人材を選ぶのかを検討しなければなりません。一般に、面接を通過すると、自社に適っている（採用関係者との相性が合っている）場合が多いようです。補完するまたは異質な人材を取り出したい場合は、予め分類しておく必要があります。

採用基準を明確にしておかねばならないでしょう。基準を具体的な形にしておく手順や方法を獲得しておかねばなりません。

分析はもとより、採用基準から人材タイプの選択に至るまでをお手伝いさせていただきます。

文道ソシオメトリー（人間関係分析）

文章は、そのテーマが何であっても、形式が論文、エッセイ、報告文であっても、知っている言葉しか使えません。仕事をテーマにしている文章であれば、日常の仕事での言葉になるでしょう。思考スタイルや人への接し方が表現スタイルとして現れます。形状分析で、人と人の関係が見いだされます。親しくなりえる対象、肌の合わない対象、等々のレベルが数値として出てきます。相性と考えても良いかもしれません。直接的な使い方ではなく、対人関係への注意事項としての材料になります。

メンタルヘルス 予知分析

報告文など、日常に表現されている文章を分析し続けると、日常の精神的な形状が分析として現れます。日常より緊張が高まったり、ストレスが溜まってくると、形状に変化が生じる確率が高くなってきます。緊張、ストレスが溜まっても、文章が平静に保たれておれば、ストレスがコントロールされている状態と見て良いでしょう。

文章分析で分かる可能性の一つです。過去に、僅かですが発見された事例があります。

日々、知識と情報のきっかけをお届けしています。

- 今日のテーマ 200字前後で、「考えてみよう」と題してテーマを提供しています。土日祝日を除く月曜から金曜日の毎朝更新しています。弊社トップページ <http://www.seedwin.co.jp> 中央にあり
- Management BLOG『最大成果を宣言 ちょっと頑張ろう』を展開しています。土日祝日を除く月曜から金曜日の毎朝更新しています。弊社トップページ <http://www.seedwin.co.jp>
- 人文組織工学 人と組織の社会について、文章分析の視点からまとめつつあります。
- 社会人へのレポート 定期で更新しています。中でも明治維新からの年表は参考になるのでは。ともにトップページからお入りください。 <http://www.seedwin.co.jp>